

大学院融合理工学府（博士前期課程・博士後期課程）入試における
新型コロナウイルス感染症に伴う海外在住者の出願及び選抜方法について

2022年5月31日

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、海外在住者については多くの場合で上陸拒否の対象となっている状況です。ついては、本学融合理工学府における大学院入試について以下の対応とします。

なお、11月以降に出願期間のある入試については、状況を見て以下に準じた対応とします。

※海外在住者：令和4年4月8日現在（通知は随時更新する可能性があるため、各自が参照時点で最新のものをご確認ください）法務省通知「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る上陸拒否について」等により指定された国に在住している者

1) 入試実施時期に日本国への入国ができないと見込まれる場合

日本国への入国ができないと見込まれる場合には、受験生からの申出に基づき、インターネットによる口頭試問を認めることとし、以下の対応とする。インターネットによる口頭試問を希望する場合には、あらかじめ出願前に各コースの指導予定教員へ申し出ること。

【博士前期課程 一般選抜（出願期間 6/21(火)-6/23(木)まで）】

日本国への入国ができないと見込まれる海外在住者については以下の対応とする。（2022年10月入学及び2023年4月入学）

- ・TOEFL 又は TOEIC L&R のスコア（原本及びコピー）は出願時に提出する。
（リモートセンシングコース及びイメージング科学コース志願者も出願時に提出する。）
- ・口頭試問による学力検査を行うコース（リモートセンシングコース，都市環境システムコース，イメージング科学コース）については，8/17(水)にインターネットによる口頭試問を実施する。
- ・そのほかのコースについては，下記の日程でインターネットによる口頭試問を実施する。

口頭試問実施日	対象コース
7/16（土）	情報科学，物質科学，共生応用化学，建築学，デザイン， 機械工学，医工学，電気電子工学
7/17（日）	数学・情報数理学，地球科学，物理学，化学，生物学

- ・工学系コースで実施する8/17（水）の筆記試験については，日本国への入国ができない場合は受験できません。

【博士前期課程 特別選抜（出願期間 6/15(水)-6/16(木)まで）】

日本国への入国ができないと見込まれる海外在住者についてはインターネットによる口頭試問を実施する。（2022年10月入学及び2023年4月入学）

【博士後期課程 一般選抜（出願期間 6/21(火)-6/23(木)まで）】

日本国への入国ができないと見込まれる海外在住者についてはインターネットによる口頭試問を実施する。（2022年10月入学及び2023年4月入学）

2) 入試実施時期に日本国へ入国し受験する場合

受験を目的として入国する場合であっても、最新の各省庁通知や関連 WEB ページ等を参照の上、入国後の自己隔離（最新の通知に基づく必要な日数）等の必要な対応を行うこと。また、自己隔離期間中はインターネットによる口頭試問の受験はできるが、筆記試験による受験はできない。

注) 令和4年4月8日現在法務省通知「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に係る上陸拒否措置等及び「外国人の新規入国制限の見直し」(概要)」では、現時点で拒否対象国以外の国や地域においても入国が制限されている。入試実施時期に本制限が緩和されている場合には、以下の各省庁ウェブサイトを各自で確認の上、入国後の自己隔離（最新の通知に基づく必要な日数）等の必要な対応を講じた上で入国すること。

- 国際的な人の往来再開に向けた段階的措置について（外務省 WEB ページ）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/cp/page22_003380.html

- 水際対策に係る新たな措置について（よくある質問）（厚生労働省 WEB ページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19_qa_kanrenkigyuu_0013.html